

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0001	林道台帳整理番号	1	施設管理者	東広島市
路線名	龍王山			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	龍王山1号橋			建設年度	不明
施設の所在地	東広島市西条町			起点からの距離	1.0km
供用年数	不明	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.7m (m)			
		幅員(車道幅員)	6.2m (4.8 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	ゴム支承		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	-				
施設の目的	公園への道路					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年8月1日		
	調査結果	橋梁に大きな損傷はなく、機能低下は認められない。起点側胸壁背面の舗装に段差15mmが認められるが、背面土の沈下に伴う影響と考察される。排水管は全体に軽微な減厚を伴う腐食が認められる。経年に伴う劣化で、施工時から塗り替えを施した形跡もなく塗料の耐久年数を超えている可能性が高い。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑥経年劣化			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(舗装段差修正・高欄再塗装)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(舗装段差修正・高欄再塗装)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0002	林道台帳整理番号	5	施設管理者	東広島市
路線名	本峠一号			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	本峠1号橋			建設年度	不明
施設の所在地	東広島市八本松町			起点からの距離	0.8km
供用年数	不明	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.5m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.3m (3.9 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	—				
施設の目的利用実態等	陸上自衛隊原村演習場内及び原財産区の山林内の道路					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年8月1日		
	調査結果	床版下面に局所的な鉄筋露出、A1橋台と隣接する下流側擁壁に70mm程度のずれがあるが、前回点検時から進展はなく、耐荷性への影響は低いと考察されるため、経過観察とする。 起点側胸壁背面の舗装に100mmの段差があり、車両通行時の安全確保のため、維持工事で対応する。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(舗装段差修正)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(舗装段差修正)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0003	林道台帳整理番号	5	施設管理者	東広島市
路線名	本峠一号			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	本峠2号橋			建設年度	S43
施設の所在地	東広島市八本松町			起点からの距離	1.2km
供用年数	57	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.2m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.0m (4.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的利用実態等	陸上自衛隊原村演習場内及び原財産区の山林内の道路					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年8月1日		
	調査結果	床版下面の全域にうきや減厚を伴う鉄筋露出があり、床版にたわみが生じている。路面には植生を伴う土砂堆積が見られ滞水を促している。橋梁構造の安全性の観点から速やかに対策を行う。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)		構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①断面修復工②その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	令和8年度に補修設計を実施し、令和9年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 損傷が顕著であり早急な対応が必要である。		
	対策費用(概算)	①断面修復工②その他(土砂撤去)			
管理方法	長寿命化対策として床版の補修を早期に実施する。定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)	1,793	7,206					465				
対策の内容	補修設計	補修工事					定期点検				※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0007	林道台帳整理番号	1	施設管理者	東広島市
路線名	桑井			林道種類及び区分	自動車道3級
橋梁名	桑井橋			建設年度	S38
施設の所在地	東広島市高屋町			起点からの距離	0.1km
供用年数	62	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.3m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	—				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月22日		
	調査結果	主桁下面に局部的なうきや鉄筋露出が認められ、かぶり不足及びA2橋台側伸縮部からの伝い水により損傷が進行したと考察される。また、A2橋台下部に表面剥離、舗装部全域に土砂堆積が見られ、予防保全の観点から対策する必要がある。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)		構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	
	劣化原因	⑥経年劣化			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8年度 ~ R12年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日:

個別施設整理番号	R0008	林道台帳整理番号	1	施設管理者	東広島市
路線名	桑井			林道種類及び区分	自動車道3級
橋梁名	湯船橋【被災】			建設年度	S40
施設の所在地	東広島市高屋町			起点からの距離	1.2km
供用年数	60	種別	コンクリート橋	型式	KB橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.0m (6.0 m)			
		幅員(車道幅員)	3.0m (3.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	不明		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	—				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日				
	調査結果				
	健全性の診断結果	()			
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	年度 ~ 年度			
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度	(優先度の考え方)			
	対策費用(概算)				
管理方法					

年度											備考
対策費用(千円)											※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容											

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0011	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	寺迫			林道種類及び区分	自動車道3級
橋梁名	寺迫1号橋			建設年度	S61
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	
供用年数	39	種別	鋼橋	型式	SG橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	二級河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.0m (2.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	鋼製H桁橋(非合成)			
			鋼製(使用鋼材)	有		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	有		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	不明		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	—				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月19日		
	調査結果	鋼部材全体に経年による防食機能の劣化及び表面的な腐食が認められる。現状は板厚減少を伴う腐食は認められないが、腐食進展が懸念されるため、予防保全の観点から対策が望ましい。なお、使用している覆工板は短期的な供用を目的に計画された部材で在り、長期的に使用する場合、更新も視野に入れる必要がある。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑥経年劣化⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	次回点検時まで経過観察とする。(定期点検のみ実施)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 利用者が限定的であるため、優先度は低とした。		
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0012	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	寺迫			林道種類及び区分	自動車道3級
橋梁名	寺迫2号橋			建設年度	S62
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	0.2km
供用年数	38	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.5m (3.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	ゴム支承		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	不明		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	—				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月19日		
	調査結果	橋梁に大きな損傷はなく、機能低下は認められない。 路面や排水管には土砂堆積が見られ、死荷重増加や他の損傷を助長させる要因となるため、維持工事に対応する。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0013	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	竹林寺			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	冬橋			建設年度	H12
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	1.8km
供用年数	25	種別	鋼橋	型式	SR橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	87.7m (m)			
		幅員(車道幅員)	11.0m (8.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	鋼製ラーメン橋			
			鋼製(使用鋼材)	有		
			支承型式	ゴム支承		
			塗装使用の有無	有		
		落橋防止の有無	有			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
			橋脚工型式	ラーメン式		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年12月8日		
	調査結果	P1P2橋脚支障に複数のアンカーナットゆるみによる機能障害があり、再締付けが必要。(再締付け済)歩道部補装に幅5mm未満のひびわれがあり、止水性能に問題ないが、今後床版上面の損傷を生じさせる懸念があるため、対策が望ましい。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑤鋼材の腐食劣化			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	次回点検時まで経過観察とする。(年1回ナットのゆるみを直営で確認し、ゆるんでいたら手締めをする。)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)				
管理方法	年1回ナットのゆるみを直営で確認し、ゆるんでいたら手締めで対応。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0014	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	竹林寺			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	秋橋			建設年度	H12
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	2.0km
供用年数	25	種別	コンクリート橋	型式	PC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	42.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	11.0m (8.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	PC箱桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	ゴム支承		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	—					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年12月8日		
	調査結果	床版下面に局部的につらら状の遊離石灰を伴うひび割れが認められるが、錆汁等もなく前回点検時から進展は見られない。ただし、貫通ひび割れを生じている可能性が高く、中性化進行が懸念されるため、予防保全の観点から止水対策が望ましい。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑧不明			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	次回点検時まで経過観察とする。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検: 令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0015	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	竹林寺			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	夏橋			建設年度	H10
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	2.2km
供用年数	27	種別	鋼橋	型式	SA橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	道橋(市道)、普通河

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	103.5m (m)			
		幅員(車道幅員)	11.0m (8.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	鋼製アーチ橋			
			鋼製(使用鋼材)	有		
			支承型式	鋼製支承		
			塗装使用の有無	有		
		落橋防止の有無	有			
		下部工型式	橋台工型式	逆T型		
			橋脚工型式	T型		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	—					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年12月9日		
	調査結果	合成床版(鋼板)スリット部、鋼板接合部、桁端部から腐食跡及び遊離石灰跡があり、前回点検時から進展はみられない。ただし、車道部の経年に伴うAS舗装ひびわれにより防水性能の低下が懸念されるため、対策が必要となる。 アーチ橋支柱基部の下部工定着部にて、アンカー二重ナットの上ナットのゆるみが認められるが、下アンカーは締結されており、構造物への影響は低いとゆるみ進行懸念から対策が望ましい。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑧不明			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8年度 ~ R12年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	次回点検時まで経過観察とする。(年1回ナットのゆるみを直営で確認し、ゆるんでいたら手締めをする。)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)				
管理方法	年1回ナットのゆるみを直営で確認し、ゆるんでいたら手締めで対応。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0016	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	竹林寺			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	春橋			建設年度	H7
施設の所在地	東広島市河内町			起点からの距離	3.0km
供用年数	30	種別	コンクリート橋	型式	PC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	100.4m (m)			
		幅員(車道幅員)	11.0m (8.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	ポステンT桁			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	ゴム支承		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
			橋脚工型式	T型		
	基礎型式	不明				
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年12月9日		
	調査結果	ポステンT桁橋の2主桁にPC鋼材に沿った遊離石灰を伴うひび割れがあり、シース内の滞水が疑われる。また、ゴム支承に経年劣化に伴う表面ひびわれがあり、対策が必要となる。 舗装面に床版上面損傷が疑われる幅5mm以上のひびわれが認められるため、詳細な調査が必要となる。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)		構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	次回点検時まで経過観察とする。			
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 損傷はあるが、前回点検時から進展がないため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検: 令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0017	林道台帳整理番号	3	施設管理者	東広島市
路線名	糸谷			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	糸谷1号橋			建設年度	S44
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	0.2km
供用年数	56	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.5m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.0m (3.7 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	-				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月16日		
	調査結果	床版下面に局所的な鉄筋露出や豆板があるが、前回点検時から進展はなく、耐荷性への影響は低いと考察されるため、経過観察とする。 舗装部路肩に土砂堆積が見られ、滞水による他の損傷を助長させる要因となるため、維持工事に対応する。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0018	林道台帳整理番号	3	施設管理者	東広島市
路線名	糸谷			林道種類及び区分	第2種自動車道2級
橋梁名	糸谷2号橋			建設年度	S44
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	0.4km
供用年数	56	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.0m (3.7 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	—				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R5	令和6年3月15日		
	調査結果	令和5年度に補修工事完了。(検査日:令和6年3月15日)			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R6 年度 ~ R10 年度			
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度	(優先度の考え方)			
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和10年度)				

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0019	林道台帳整理番号	3	施設管理者	東広島市
路線名	糸谷			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	糸谷3号橋			建設年度	S44
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	1.3km
供用年数	56	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.9m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月16日		
	調査結果	橋梁に大きな損傷はなく、機能低下は認められない。 舗装部路肩に土砂堆積があり、滞水による他の損傷を助長させる要因となるため、維持工事に対応する。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0021	林道台帳整理番号	6	施設管理者	東広島市
路線名	神谷			林道種類及び区分	軽車道
橋梁名	神谷1号橋			建設年度	S35
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	0.7km
供用年数	65	種別	BOX	型式	BOX
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2.3m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.7m (3.7 m)			
	施設の構造等	上部工型式	BOX			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	BOX		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和8年3月25日		
	調査結果	令和7年度に補修工事完了。(検査日:令和8年3月25日)			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度	(優先度の考え方)			
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0022	林道台帳整理番号	7	施設管理者	東広島市
路線名	水無			林道種類及び区分	軽車道
橋梁名	水無1号橋			建設年度	S53
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	0.3km
供用年数	47	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.1m (2.7 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和8年3月25日		
	調査結果	令和7年度に補修工事完了。(検査日:令和8年3月25日)			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度	(優先度の考え方)			
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0023	林道台帳整理番号	15	施設管理者	東広島市
路線名	風早小松原線			林道種類及び区分	自動車道1級
橋梁名	審麻呂橋			建設年度	H6
施設の所在地	東広島市安芸津町			起点からの距離	
供用年数	31	種別	コンクリート橋	型式	PC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	二級河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	6.0m (5.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	プレテン箱桁			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	ゴム支承		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	逆T式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	1.4km					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月16日		
	調査結果	PC桁間詰部に局所的な漏水跡が認められるが、錆汁等は見られない。 舗装に5mm以上のひびわれが認められるが、局所的で直ちに問題となる可能性が低い ため経過観察とする。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑥経年劣化			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	損傷箇所は見られないため当面の間は保全整備を実施しない。(定期点検のみ実施)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検: 令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0024	林道台帳整理番号	7	施設管理者	東広島市
路線名	大谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	大谷1号橋			建設年度	S45
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.5km
供用年数	55	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.9m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	-				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和8年3月25日		
	調査結果	令和7年度に補修工事完了。(検査日:令和8年3月25日)			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度	(優先度の考え方)			
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	※計画期間初年度からの10ヶ年計画
対策の内容					定期点検					定期点検	

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0025	林道台帳整理番号	7	施設管理者	東広島市
路線名	大谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	大谷2号橋			建設年度	S48
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.7km
供用年数	52	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.5m (4.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年10月1日		
	調査結果	床版下面に局所的な鉄筋露出があり、かぶり不足及び伸縮部からの伝い水により損傷が進行したと考察される。また、A1橋台下部に表面剥離、A2橋台に遊離石灰に伴うひびわれ、両橋台の伸縮装置からの漏水、舗装部路肩に土砂堆積が見られ、予防保全の観点から対策する必要がある。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①断面修復工②その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	令和10年度に補修設計を実施し、令和11年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 損傷が顕著であり早急な対応が必要である。		
	対策費用(概算)	①断面修復工②その他(土砂撤去)			
管理方法	長寿命化対策として床版の補修を早期に実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)			1,793	7,206					465		
対策の内容			補修設計	補修工事					定期点検		※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0026	林道台帳整理番号	8	施設管理者	東広島市
路線名	黒ボヤ線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	高見橋			建設年度	S39
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.1km
供用年数	61	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.6m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.2m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月29日		
	調査結果	床版や主桁に局部的な鉄筋露出や遊離石灰、A1橋台に遊離石灰を伴うひびわれがあるが、前回点検時から進展はなく、対荷性への影響は低いと考察され、経過観察とする。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	経過観察			
	実施予定時期	損傷個所は見られないため当面の間は保全整備を実施しない。(定期点検のみ実施)			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検: 令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0027	林道台帳整理番号	8	施設管理者	東広島市
路線名	黒ボヤ線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	黒バヤ橋			建設年度	S40
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.8km
供用年数	60	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.4m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.7m (3.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月29日		
	調査結果	床版下面に遊離石灰に伴うひびわれ、鉄筋露出があるが、いずれも局部的で直ちに問題となる可能性が低い。ため経過観察とする。 舗装部にはがれやひびわれがあり、今後の進展による床版への影響が懸念されるため、維持工事に対応する。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑥経年劣化⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(舗装修繕)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(舗装修繕)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0028	林道台帳整理番号	10	施設管理者	東広島市
路線名	傍原谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	傍原谷1号橋			建設年度	S36
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.1km
供用年数	64	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.9m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和8年3月25日		
	調査結果	令和7年度に補修工事完了。(検査日:令和8年3月25日)			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度	(優先度の考え方)			
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0029	林道台帳整理番号	10	施設管理者	東広島市
路線名	傍原谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	傍原谷2号橋			建設年度	S36
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.3km
供用年数	64	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	普通河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	3.9m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年10月1日		
	調査結果	橋梁に大きな損傷はなく、機能低下は認められない。 舗装部路肩に土砂堆積があり、滞水による他の損傷を助長させる要因となるため、維持工事に対応する。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0030	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	鷹の巣線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	鷹の巣1号橋			建設年度	S56
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.3km
供用年数	44	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.6m (m)			
		幅員(車道幅員)	5.2m (4.2 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	—				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月26日		
	調査結果	A1橋台側に前回点検時にはなかった広範囲の洗掘がある。 舗装部に幅5mmの局部的なひび割れが認められる。 橋梁構造の安全性の観点から速やかに対策を講じる必要がある。			
	健全性の診断結果	III (早期措置段階)	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態		
	劣化原因	⑦その他(上流河川の湾曲により流速が橋梁部で急増し、直接基礎部の洗掘を助長したと考察する。)			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①根固工②その他(舗装修繕)			
	実施予定時期	令和8年度に補修設計を実施し、令和9年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 橋台洗掘により早急な対応が必要である。		
	対策費用(概算)	①根固工②その他(舗装修繕)			
管理方法	長寿命化対策として橋台の根固工を早期に実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)	1,793	7,206					465				
対策の内容	補修設計	補修工事					定期点検				※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0031	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	鷹の巣線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	鷹の巣2号橋			建設年度	S56
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.4km
供用年数	44	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.7m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.2m (3.8 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
施設の利用実態等	海岸からの距離	-				
施設の目的	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月26日		
	調査結果	橋梁に大きな損傷はなく、機能低下は認められない。 A2橋台背面の土留石積に経年に伴う抜けが認められるため、維持工事に対応する。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(橋台背面土留石積修繕)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(橋台背面土留石積修繕)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0032	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	鷹の巣線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	鷹の巣3号橋			建設年度	S56
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.7km
供用年数	44	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.8m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.0m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月26日		
	調査結果	床版下面に局部的なうきや、鉄筋露出が認められ、予防保全の観点から速やかな対策が望まれる。舗装に5mm未満のひびわれが認められるが経過観察とする。 A1橋台上流側の護岸石済みの一部が崩壊しているため、管理者に状況を報告する。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)		構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	
	劣化原因	⑥経年劣化			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①断面修復工			
	実施予定時期	令和10年度に補修設計を実施し、令和11年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 損傷が顕著であり早急な対応が必要である。		
	対策費用(概算)	①断面修復工			
管理方法	長寿命化対策として床版の補修を早期に実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)			1,793	7,206					465		
対策の内容			補修設計	補修工事					定期点検		※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0033	林道台帳整理番号	13	施設管理者	東広島市
路線名	鷹の巣線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	鷹の巣4号橋			建設年度	S57
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	1.2km
供用年数	43	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.5m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.0m (3.6 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月26日		
	調査結果	A2橋台下部に流水による洗堀が認められる。また、A1橋台下部に局所的な欠損があり、予防保全の観点から速やかな対策が望まれる。 起点側の舗装に段差40mmが認められ、車両通行時の安全確保のため、維持工事で対応する。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①根固工②その他(段差修正)			
	実施予定時期	令和10年度に補修設計を実施し、令和11年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 損傷が顕著であり早急な対応が必要である。		
	対策費用(概算)	①根固工②その他(段差修正)			
管理方法	長寿命化対策として橋台の根固工を早期に実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)			1,793	7,206					465		
対策の内容			補修設計	補修工事					定期点検		※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0034	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	布谷線			林道種類及び区分	第2種自動車道2級
橋梁名	布谷1号橋			建設年度	S33
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.1km
供用年数	67	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.4m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.1m (3.8 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R5	令和6年3月26日		
	調査結果	令和5年度に補修工事完了。(検査日:令和6年3月26日)			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因				

長寿命化計画の内容	計画期間	R6 年度 ~ R10 年度			
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度	(優先度の考え方)			
	対策費用(概算)				
管理方法	定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和10年度)				

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0035	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	布谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	布谷2号線			建設年度	S33
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.3km
供用年数	67	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.3m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.4m (4.1 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	無		
			塗装使用の有無	無		
			落橋防止の有無	無		
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	-				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月30日		
	調査結果	床版下面に局部的なつきが認められ、かぶり不足の影響と考察される。また、A2橋台前面に0.2mm以下の乾燥収縮に伴うひびわれがあるが、前回点検時から進展はなく、耐荷性への影響は低いと考察されるため、経過観察とする。 路面には植生を伴う土砂堆積が見られ、死荷重増加や他の損傷を助長させる要因となるため、維持工事に対応する。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0037	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	布谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	布谷4号橋			建設年度	S33
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	0.7km
供用年数	67	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.0m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.2m (3.9 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
			落橋防止の有無	無		
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
	海岸からの距離	—				
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月30日		
	調査結果	床版下面に広範囲のうき、減厚を伴う鉄筋露出が認められる。路面には植生を伴う土砂堆積が見られ滞水を促しており、他の損傷の助長が懸念される。橋梁構造の安全性の観点から速やかに対策を講じる必要がある。			
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)		構造物の機能に支障が生じてないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	
	劣化原因	⑦その他(施工時のかぶり不足が要因と考察する。)			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①断面修復工②その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	令和8年度に補修設計を実施し、令和9年度に補修工事対応する。			
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 損傷が顕著であり早急な対応が必要である。		
	対策費用(概算)	①断面修復工②その他(土砂撤去)			
管理方法	長寿命化対策として床版の補修を早期に実施する。定期点検については5年に1度の頻度で実施する。				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)	1,793	7,206					465				
対策の内容	補修設計	補修工事					定期点検				※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--

林道施設個別施設計画(橋梁)

策定年月日: R2.12.25

個別施設整理番号	R0038	林道台帳整理番号	9	施設管理者	東広島市
路線名	布谷線			林道種類及び区分	自動車道2級
橋梁名	布谷5号線			建設年度	S33
施設の所在地	東広島市福富町			起点からの距離	1.3km
供用年数	67	種別	コンクリート橋	型式	RC橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂防河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.9m (m)			
		幅員(車道幅員)	4.3m (4.0 m)			
	施設の構造等	上部工型式	RC中実床版			
			鋼製(使用鋼材)	無		
			支承型式	有		
			塗装使用の有無	無		
		落橋防止の有無	無			
		下部工型式	橋台工型式	重力式		
			橋脚工型式	無		
	基礎型式		不明			
海岸からの距離	-					
施設の目的 利用実態等	山林の管理道					

施設の状態等の概要	点検診断日	R7	令和7年9月30日		
	調査結果	床版下面にかぶり不足に伴う、局所的な剥離鉄筋露出があるが、前回点検時から進展はなく、耐荷性への影響は低いと考察されるため、経過観察とする。 路面には植生を伴う土砂堆積が見られ、死荷重増加や他の損傷を助長させる要因となるため、維持工事に対応する。			
	健全性の診断結果	I (健全)	構造物の機能に支障が生じてない状態		
	劣化原因	⑦その他			

長寿命化計画の内容	計画期間	R8 年度 ~ R12 年度			
	内容	①その他(土砂撤去)			
	実施予定時期	早期に対策を要しないため、令和8~12年度に実施する。			
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 損傷が軽微であるため、優先度は低い。		
	対策費用(概算)	①その他(土砂撤去)			
管理方法	損傷が軽微であるため、対策については維持管理において実施する。 定期点検については5年に1度の頻度で実施する。(次回点検:令和12年度)				

年度	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	備考
対策費用(千円)					465					465	
対策の内容					定期点検					定期点検	※計画期間初年度からの10ヶ年計画

備考	
----	--